

2023年12月4日（月）

先週から続いている新任研授業ですが、本日も5年社会科において研究授業が行われました。小榊小の子供たちにとって、もはやクロームブックは生活や学習の必需品となっていることを改めて感じました。また、子供たち同士、そして担任との関係性も温かく、いい学級経営がなされていることが感じられました。

さて、社会科における「深い学び」の鍵は、「社会科における見方・考え方」を子供たちが働かせるような授業を仕組むことです。社会科の見方・考え方は学習指導要領の解説に次のように示されています。

社会的事象を、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係に着目して捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること。

社会科の事象を覚えたり、理解したりすることだけでなく、こういった「見方・考え方」を働かせるように学習を仕組むこと、これが子供たちの資質・能力を育む第一歩だと実感しています。

